

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公表番号】特表2003-521916(P2003-521916A)

【公表日】平成15年7月22日(2003.7.22)

【出願番号】特願2001-557921(P2001-557921)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/42 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 39/395 U

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 43/00 1 7 1

C 0 7 K 16/42

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月30日(2008.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 イヌ I g E に特異的に結合する イヌおよびマウス免疫グロブリンを含む抗体。

【請求項 2】 抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 記載の抗体。

【請求項 3】 マウスの長および短鎖可変領域に融合したイヌの不変長および短ドメイン含む、請求項 1 記載の抗体。

【請求項 4】 抗体がイヌ I g E の 長鎖不変領域のエキソン 3 に対してアフィニティを有する、請求項 1 記載の抗体。

【請求項 5】 抗体が C 1 5 A . 2 である、請求項 2 記載の抗体。

【請求項 6】 抗体が I g E が別の受容体と結合することを妨げ、その別の受容体が 1 またはそれ以上の B 細胞、肥満細胞および好塩基球からなる群より選択される細胞上にある、請求項 1 記載の抗体。

【請求項 7】 抗体がさらに I g G 長鎖の少なくとも一部を含む、請求項 1 記載の抗体。

【請求項 8】 I g E と特異的に結合する イヌおよびマウス免疫グロブリンを含む抗体 をイヌに投与することを含む、イヌのアレルギーの治療方法。

【請求項 9】 抗体がモノクローナル抗体である、請求項 8 記載の方法。

【請求項 10】 抗体がマウスの長および短鎖可変領域に融合したイヌの不変長および短ドメイン含む、請求項 9 記載の方法。

【請求項 1 1】 抗体がイヌ I g E のエキソン 3 に対してアフィニティーを有する、請求項 8 記載の方法。

【請求項 1 2】 抗体が C 1 5 A . 2 である、請求項 1 1 記載の方法。

【請求項 1 3】 抗体の投与が治療されるイヌにおいて血清 I g E レベルの低下をもたらす、請求項 8 記載の方法。

【請求項 1 4】 抗体の投与が I g E の B 細胞上への結合をもたらし、その後で B 細胞のクローン集団を排除する、請求項 8 記載の方法。

【請求項 1 5】 抗体の投与が I g E の血漿への結合をもたらす、請求項 8 記載の方法。

【請求項 1 6】 抗体の投与がイヌにおいて I g E 産生の阻害をもたらす、請求項 8 記載の方法。

【請求項 1 7】 抗体がさらに I g G 長鎖配列を含む、請求項 8 記載の方法。

【請求項 1 8】 血清 I g E レベルの低下が I g E と I g E についての受容体との相互作用を破壊または遮断することにより惹起される、請求項 1 3 記載の方法。

【請求項 1 9】 I g E についての受容体が肥満細胞上にある、請求項 1 8 記載の方法。

【請求項 2 0】 I g E についての受容体が好塩基球上にある、請求項 1 8 記載の方法。

【請求項 2 1】 イヌのアレルギーを治療するための医薬処方であって、治療上有効量のイヌおよびマウスの免疫グロブリンを含む抗体を含み、ここに抗体がイヌ I g E に特異的に結合する、医薬処方。

【請求項 2 2】 抗体がモノクローナル抗体を含む、請求項 2 1 記載の医薬処方。

【請求項 2 3】 モノクローナル抗体が、マウスの長および短鎖可変領域に融合したイヌの不変長および短ドメインを含み、イヌ I g E の長鎖不変領域のエキソン 3 に対してアフィニティーを有する、請求項 2 2 記載の医薬処方。

【請求項 2 4】 さらに、セイラインまたは他の非経口用溶液、緩衝化剤、安定化剤、増量剤、酸化防止剤および共溶媒からなる群より選択される 1 またはそれ以上の成分を含んでいる、請求項 2 1 記載の医薬処方。

【請求項 2 5】 静脈内投与、皮下投与および筋肉内投与からなる方法のうち 1 またはそれ以上の方法による投与に適する形態である、請求項 2 2 記載の医薬処方。

【請求項 2 6】 抗体が遊離イヌ I g E および B 細胞に結合した I g E に結合する、請求項 1 記載の抗体。

【請求項 2 7】 抗体が遊離イヌ I g E および B 細胞に結合した I g E に結合する、請求項 2 1 記載の医薬処方。